

3 クレジットを使う



他の活用方法や活用事例は「J-クレジット制度HP」に掲載しています。ご参照ください。

- 活用方法 <https://japancredit.go.jp/usage/>
- 活用事例 <https://japancredit.go.jp/case/>

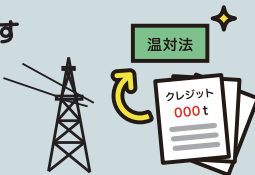


再生可能エネルギー由来のJ-クレジットは CDP※質問書に再生可能エネルギーの調達量として報告できます

※CDPは、投資家向けに企業の環境情報の提供を行うことを目的とした国際的な非営利団体。気候変動等に関わる事業リスクについて、企業がどのように対応しているか、質問書形式で調査し、評価したうえで公表するもの。

温対法の排出量調整、電気事業者の排出係数調整に活用できます

温対法（地球温暖化対策の推進に関する法律）における排出量の調整に報告できます。また、電気事業者が、温対法の算定・報告・公表制度で公開される事業者別排出係数や、メニュー別の排出係数の調整に活用できます。



カーボン・オフセットに活用できます

環境への貢献PR、企業や製品の差別化、ブランディングに利用可能です。

活用事例：G7 伊勢志摩サミットのカーボン・オフセット、山の日カーボン・オフセットキャンペーン（いずれも2016年度）等

お問合せ先

制度全般に関するお問合せ

国内クレジット、J-VER もこちらへ！

みずほ情報総研株式会社 環境エネルギー第2部 J-クレジット制度事務局

TEL：03-5281-7588 / E-mail：help@jcre.jp

【受付時間】平日（月～金）9:30～12:00 / 13:00～17:30

関係省庁

- | | |
|------------------------|------------------|
| ・環境省 地球温暖化対策課 市場メカニズム室 | TEL：03-5521-8246 |
| ・経済産業省 環境政策課 環境経済室 | TEL：03-3501-1770 |
| ・農林水産省 大臣官房 政策課 環境政策室 | TEL：03-6744-2016 |

J-クレジット制度ホームページ

<https://japancredit.go.jp/>

J-フレ

検索



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

本パンフレットは、印刷過程で排出するCO₂を計算し、福島県内で創出されたJ-クレジットによりカーボン・オフセットしています。



J-クレジット制度



J-クレジット制度とは、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を、クレジットとして国が認証する制度です。

温室効果ガスの排出削減または吸収量の増加につながる事業の実施

省エネ設備の導入
(燃料転換、高効率化)



ボイラーの導入 照明設備の導入

再生可能エネルギーの導入



太陽光発電設備の導入

適切な森林管理



植林・間伐等

1

次ページへ→

つくるひと
J-クレジット創出者 (中小企業、農業者、森林所有者、地方自治体等)

CO₂等の排出削減・吸収量
(J-クレジット)

資金循環

目標達成、CSR活動
カーボン・オフセット



資金

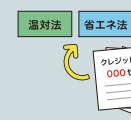
2

次ページへ→

つかうひと
J-クレジット購入者 (大企業、中小企業、地方自治体等)



CDP 質問書の報告



温対法・省エネ法の報告



カーボン・オフセット



ASSET 事業

低炭素社会実行計画
の目標達成

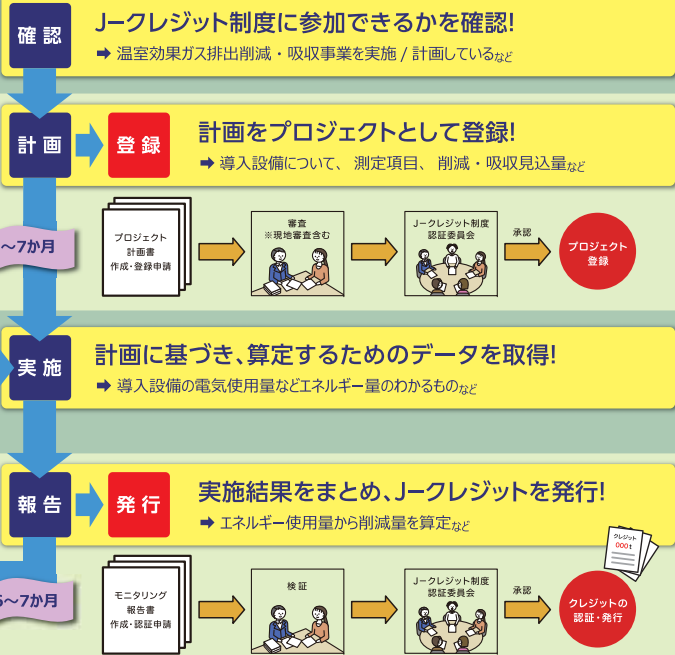
3

最後のページへ→

認証されたクレジットは、購入することができ、温対法報告における排出係数の調整やカーボン・オフセット等、さまざまな用途に活用できます。また、クレジット購入代金は、クレジット創出者に還元され、さらなるCO₂等の排出削減・吸収の取組や、地域活性化等に活かすことができます。

1 クレジットを創る

登録した計画に基づき
算定されたCO₂等排出
削減・吸収量が、J-
クレジットとして発行され
ます。

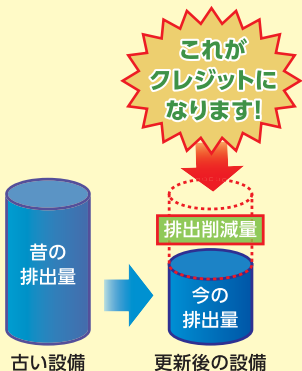


- 書類作成支援
 - 審査費用支援
- プロジェクト計画書の作成支援や、審査機関にプロジェクト計画書・モニタリング報告書を審査してもらう際の費用の支援が受けられます。支援条件がありますので、各種支援の詳細は「J-クレジット制度HP」を参照いただくか、事務局にお問合せください。

*支援内容・条件は年度毎に見直しを行いますのでご注意ください。

申請手続支援のページをご参照ください。
<https://japancredit.go.jp/application/support/>

クレジットの考え方



J-クレジット創出の方法論別平均排出削減・吸収見込量

方法論分類	主な方法論例	方法論別平均 排出削減・吸収見込量
省エネルギー	ボイラー	553 t-CO ₂ /年
	照明設備	72 t-CO ₂ /年
	空調設備	30 t-CO ₂ /年
	ヒートポンプ	128 t-CO ₂ /年
	コージェネレーション	837 t-CO ₂ /年
	工業炉	5,398 t-CO ₂ /年
再生可能エネルギー	木質バイオマス	1,379 t-CO ₂ /年
	太陽光発電	69 t-CO ₂ /年
	バイオ液体燃料	237 t-CO ₂ /年
廃棄物	食品廃棄物等の堆肥化	77 t-CO ₂ /年
森林吸収	森林経営活動	1,676 t-CO ₂ /年

通常型プロジェクトのみ 2017年6月現在

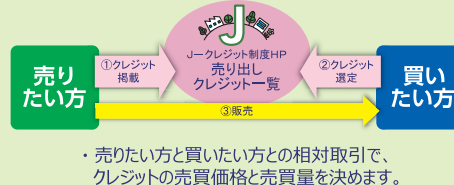
2 クレジットを売る / 買う

J-クレジットは、「相対取引」と「入札販売」の2つの方法で売買できます。
「J-クレジット制度HP」に、売り出しクレジット一覧、今後の入札予定、過去の入札結果等を掲載しています。

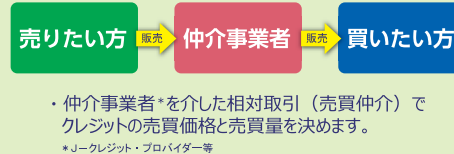


相対取引

■ J-クレジット制度HPを利用する場合

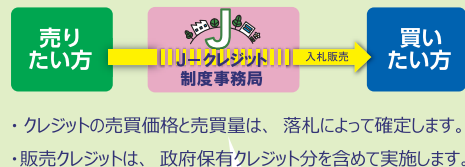


■ 仲介事業者を利用する場合



入札販売

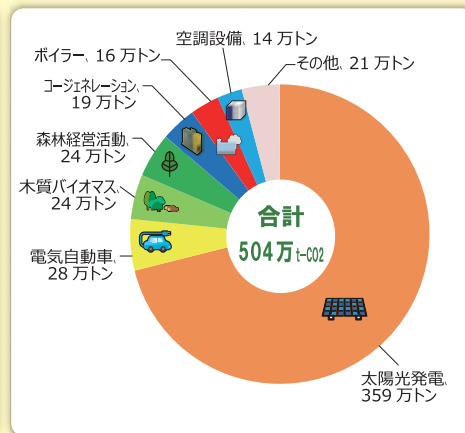
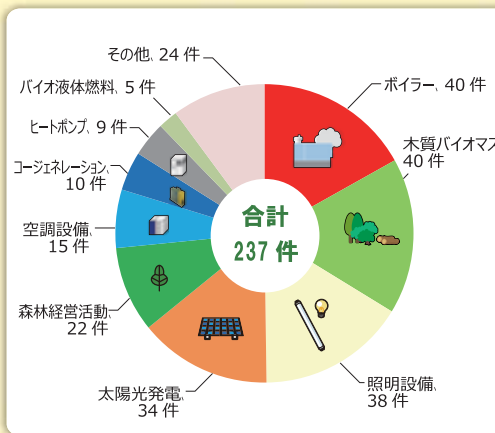
J-クレジット制度HP「売り出しクレジット一覧」に掲載後、6か月以上取引が成立していない場合、希望者は入札販売の対象となります。



クレジットの**落札価格**は、「J-クレジット制度HP」に掲載の入札販売のページをご参照ください。
<https://japancredit.go.jp/tender/>

方法論ごとの登録件数と削減・吸収量

各方法論の登録件数と、各方法論の削減・吸収量＝創出されると見込まれるクレジットのトン数は以下の通りです。
最新のデータは「J-クレジット制度HP」の「制度の最新状況」ページをご参照ください。



累計データ 2017年6月現在